

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・必修	
	対象学科・専攻	情報工学科	
情報応用演習 (Exercises in Information Applications)	担当教員	情報工学科各教員	
	教員室		
	E-Mail		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実験・演習 / 学修単位[講義Ⅱ] / 3単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業(150分)+自学自習(300分)]×18回		
[本科目の目標] 情報工学関連のさまざまな分野における、より専門化された実験・実務を体験し、検討することによって実践的な能力の向上を図る。			
[本科目の位置付け] 実験のテーマにより重点的に必要となる科目は異なるが、1年次から5年次までの全授業科目が関連する。			
[学習上の留意点] (1) グループ単位の実験であることを生かし、各自が実務能力の向上に努めること。 (2) 各テーマとも指導書の予習を行い、内容を理解した上で実験に臨むこと。 (3) 報告書は自らの理解に基づき執筆し、期限内に提出すること。 (4) 1テーマを2週間(8時間)で行い、巡回方式で指定された実験を7テーマ行う。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
オリエンテーションとグループ編成	4	オリエンテーションとグループ編成	次の演習実施日1週間前までに演習担当の教員から資料を受け取り、演習実施日までに資料をしっかりと読んでおくこと。
画像処理プログラミング(加治佐)	8	Visual C#を用いて画像処理入門のプログラミングができる。	
C言語応用プログラミング(榎園)	8	パズルを解くプログラムやゲームプログラミングプログラムの作成を通してAIプログラムへ応用できる。	
聴覚実験(マスキング)(幸田)	8	MDなどに利用されているマスキング効果について理解できる。	
UNIX応用プログラミング(堂込)	8	UNIXの主要ツールの使い方およびC言語によるシステムコールの使い方を理解できる。	
論理プログラミング(新徳)	8	宣言的言語と手続き型言語との違いを理解し、基本的な論理プログラムを説明できる。	
組み込みシステム(豊平)	8	組み込みシステムで利用されるμITORNの開発環境やプログラミングが理解できる。μITORNでのタスク管理やタスク間通信を理解し、応用できる。	
ネットワークシステム(1)(玉利)	8	DNSの設定を行なうことにより、ネームサーバの設定ファイルの役割やDNSの仕組みを理解できる。	
ネットワークシステム(2)(入江)	8	DHCPの仕組みを理解し、トラブルシューティングに応用できる。	
ネットワークシステム(3)(濱川)	8	メールのプロトコルを理解できる。	
ネットワーク応用(武田)	8	インターネットにおける通信や、分散並列処理を理解する。	

